県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

豊かな人間性を育み、
女性とその家族に寄り添う
助産師になる。

助産学専攻科

Graduate Program of Midwifery

アドミッション・ポリシー × 高度な専門職の育成 × 時代のニーズに沿ったカリキュラム × 取得できる資格・免許

■諸問題を多角的に捉え柔軟に対応するために必要な、幅広い基礎学力を有している人
■積極的に他者と関わり、相互理解に努めようとする態度を有している人
■看護を基盤とした倫理観、コミュニケーション能力を有している人
■助産の基礎を学ぶために必要な看護の学力と技術を有している人
■助産に対する課題に関心を持ち、解決する意欲と行動力を有している人

助産学専攻科では、妊娠や出産、育児支援、女性の健康支援など、幅広く対応できる専門知識と判断力・実践力はもちろん、地域社会の母子保健の発展に貢献できる豊かな人間性を備えた助産師を育成します。

県立広島大学の助産学専攻科では、1年のカリキュラムで助産師教育を行っています。

助産学専攻科のカリキュラム

カリキュラムの強化ポイントは、継続事例の実習の充実（妊娠期～産後4か月健診まで）、周産期のメンタルヘルスやハイリスク妊婦への対応、正常からの逸脱の判断や異常を予測する臨床判断能力、緊急時に対応できる実践能力を養うための助産診断・技術学の内容の充実、地域住民（女性のライフステージすべて）への健康支援の実習の充実です。

多彩な講師陣から学ぶ

看護師・保健師・医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士等の学部の講師、臨地のスペシャリスト

■助産師国家試験受験資格
■受胎調節実地指導員
■新生児蘇生法「専門」コース

助産師国家試験の合格率

100%

（9名/9名中）

【全国合格率：98.9%（令和6年度）】

設立時（2009年度）から100%

助産学専攻科の1年

妊婦への健康教育の演習

シミュレーションを通して、妊婦のニーズを把握して対応することを学びます。

分娩介助技術の演習

学生同士で、産婦役・助産師役になって、分娩期の支援・分娩介助技術を学びます。

母乳育児支援の演習

様々な状況の褥婦の授乳場面を設定し、基本技術・個別性に合わせた支援を学びます。

同じ助産師をめざす者同士、すぐに意気投合

入学式 → 4▶6月 講義・演習 → 6▶9月 助産学実習Ⅰ Ⅱ（6月末、7月中旬）

Pickup

学生が主体的に学ぶ

助産学専攻科では、何を学ぶかを自らが考え、仲間と共に主体的に学ぶ授業スタイルを大切にしています。

学修成果のプレゼンテーションや仲間とのディスカッションを通して、批判的思考力・探求心を養います。

学生同士での学び合い

プレゼンテーションした知識と技術を使って、体験して学びを深めます。

助産技術も自分たちでプレゼンしてディスカッション

シミュレーション学修で実践力を学ぶ

助産学専攻科では、シミュレーション学修に力を入れています。助産の実践家を育成することを目指しています。

学生主体のシミュレーション学修を通して、診断力や技術を学び、実践力を養うことができます。

グループでの作戦会議

シミュレーションの実施

助産学実習のⅠ〜Ⅳの施設

県立広島病院、ＪＡ尾道総合病院、市立三次中央病院、広島市立北部医療センター安佐市民病院、広島市立広島市民病院、広島大学病院、藤東クリニック、姫路赤十字病院、にしだ助産所、三原市保健福祉部など

新生児蘇生法の演習

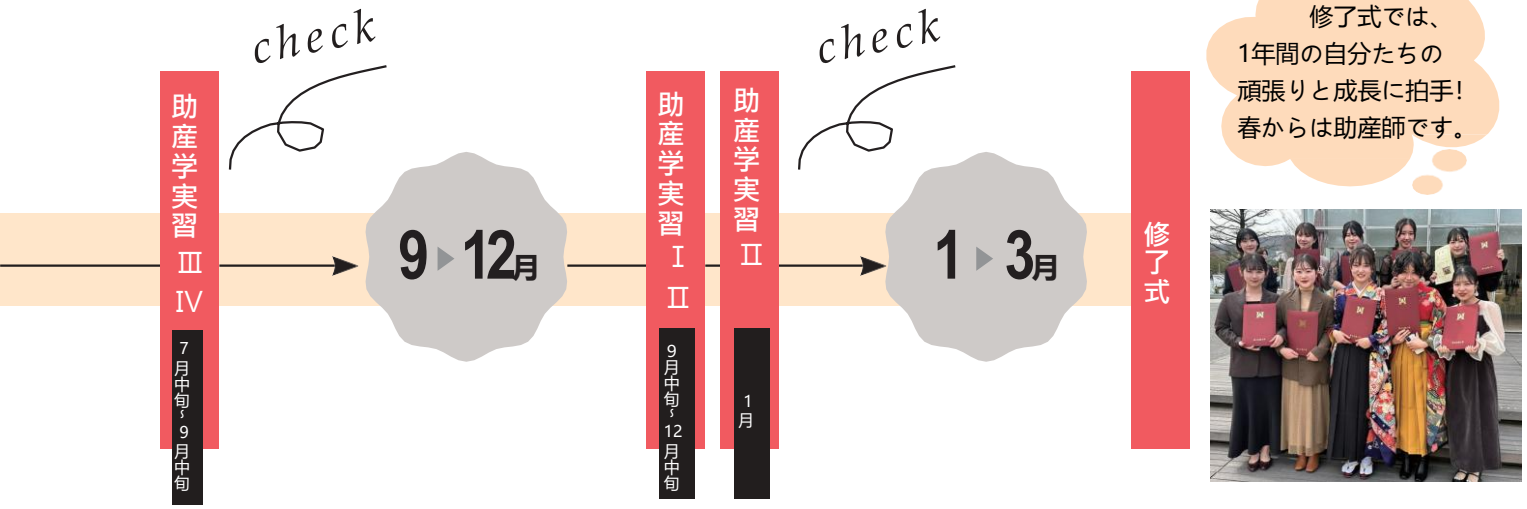
出生直後の新生児の観察と蘇生の手技を学びます。

助産学実習Ⅲ

助産学実習では、公開講座を専攻科の教員と協働して、 企画・実践します。

助産学実習Ⅰ・Ⅱ

臨地実習では、妊婦・産婦・褥婦・新生児を受け持ち、ケアを実践します。



Curriculum

助産学基礎領域

助産師の役割や責務、助産師の歴史、助産を取り巻く国内外の社会環境など助産師として土台となる部分について学びます。

助産学実践領域

妊産褥婦および新生児とその家族を支援する助産実践の方法を学び、さらに助産学の発展に寄与するための研究方法について学びます。

女性への健康支援領域

生涯にわたる女性の健康支援のための方法やリプロダクティブ・ヘルスのほか、生殖医療や生命倫理について学びます。

領域名	科目名	単位数 必修	単位数 選択	終了単位数
助産学基礎	助産学概論	1		4単位履修
	性と生殖の形態と機能I	1		
	性と生殖の形態と機能II	1		
	新生児・乳幼児学	1		
助産学実践	助産診断・技術学I	1		26単位履修
	助産診断・技術学II	2		
	助産診断・技術学III	1		
	助産診断・技術学演習I	1		
	助産診断・技術学演習II	1		
	助産診断・技術学演習III	1		
	周産期ハイリスクケア	1		
	助産学研究	1		
	地域母子保健	2		
	助産管理	2		
	助産学実習I	2		
	助産学実習II	9		
	助産学実習III	1		
	助産学実習IV	1		
女性への健康支援	生殖医療と生命倫理	1		4単位以上履修
	ジェンダーとセクシュアリティ	1		
	親子関係発達論	1		
	総合ヘルスケア論		1	
	周産期支援活動論		1	
	合計	33	2	34単位以上履修

募集の概要（詳細は、募集要項をご参照ください。）

入学定員	募集人員の内訳		
	一般枠	本学枠	広島県内枠
10人	4人	4人	2人

併願について
本学枠または広島県内枠に出願した者は、併せて一般枠に出願したものとして取り扱います。
なお、本学枠と広島県内枠の併願は認めません。

出願資格
- 看護師資格を有する者又は看護師国家試験受験資格を有する者（取得見込の者を含む）
- 学校教育法第83条の大学を卒業した者（卒業見込みの者を含む）

修了後の進路と主な就職先

【広島県内】県立広島病院、広島市立北部医療センター安佐市民病院、広島市立広島市民病院、
市立三次中央病院、 JA 広島総合病院、中国中央病院、JA尾道総合病院、
国立病院機構福山医療センター、 国立病院機構東広島医療センター、土谷総合病院、小池病院など
【広島県外】山口赤十字病院、倉敷成人病センター、愛媛県立中央病院、JCHO大阪病院 、
神戸市民病院機構神戸市立医療センター西市民病院、姫路赤十字病院など

就職率 100%

動画で見る「助産学専攻科」

助産学専攻科の紹介 ▶

授業の紹介 ▶

先輩たちの声 Voice ▶

修了生からのメッセージ

もともと助産師になりたい思いを持っていましたが、看護を学ぶ中でその思いがより強まり、この大学に進学しました。専攻科での1年間は、勉強や実習で大変なことも多かったけれど、同じ志を持つ仲間と過ごす日々は、とても充実していました。講義では、間違いを怖がらなくてもよい環境で、自分の意見を持ち、お互いに高め合いながら知識を深めました。実習では、その学びが実践に繋がり、お母さんや赤ちゃんとの関わりから新たな学びを得ることができました。妊娠期から産褥期までお母さんたちを一番近くで支える上で、対象者に寄り添い希望や思いを実現できるよう、ともに考えていくことが必要だと学びました。そして、出産にはリスクも伴うため責任の大きさを強く感じました。

先生方は、常に私たちが助産師としてどうあるべきか、どんな助産師になりたいかを考えられるような指導をしてくださいました。この大学で助産学を学ぶことができて、本当に良かったと思っています。臨床で忙しい日々が続くと、目指す助産師像を見失いそうになりますが、この1　年間を思い出しながら、これからも頑張ります。

JA尾道総合病院助産師
森本 優美さん
助産学専攻科2019年度修了、
保健福祉学部看護学科2018年度卒

教員からのメッセージ

助産学専攻科教員

こんにちは。私たちは、県立広島大学助産学専攻科の教員です。日々、学生のみなさんに助産の楽しさを伝えようと奮闘しています。

専攻科の授業は、なんといっても、学生さんが主役!「 失敗しても大丈夫! まずはやってみよう」を合言葉に、シミュレーション学修に取り組んでいます。机上で学んだ知識をフル活用して、アタマとカラダを動かす授業は、まさに 生きた学びの場〞です。

私たち教員も妊産褥婦になりきって、現場の雰囲気を感じられるよう工夫しています（時にリアル すぎて学生さんがひいてしまうことも・・・）。

授業だけでなく、気軽に相談できる関係づくりを目指して、学生生活のサポートにも力を入れています。ぜひ、私たちと一緒に助産を学びませんか?

県立広島大学 三原キャンパス
〒723 -0053 広島県三原市学園町1番1号 **TEL．0848-60-1120（代）**
詳細な情報は、大学ホームページに掲載しています。 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/

発行日 令和7年5月27日